

公表: 令和4年 3月 1日

事業所名 ドリームつばさ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数やお子さんの成長段階・活動内容等に合わせて部屋を分ける等の環境設定を行っている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			活動内容やお子さんの年齢に応じて対応できる職員配置にしている。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			登所日・利用時間帯・個々に合わせた環境設定(玩具の大きさ・パーテーションで場を区切る・視覚提示等)を考慮した環境設定を行っている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			感染症対策として活動終了後に教材・柵・てすり・椅子等の消毒を徹底して行っている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			療育終了後に活動を振り返る時間を設け、反省や良かった点など今後活かせるよう話し合いの場を設けている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			集計結果を職員全体で共有し、業務改善の為に話し合いを行っている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			定期的にアンケートを実施し、結果をホームページで公開している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内・社外共にオンライン研修に参加している。	
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			定期的にアセスメントを行い、保護者からの要望を取り入れながら個々に合った必要な支援を考え支援計画を作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメント教材とシートを使用している。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに則した支援項目を設定している。関係機関との情報共有の機会を設け、必要な支援を支援計画に反映させ作成している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画に基づいてステップシートを作成し、目標に向けた支援を行っている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動立案担当を中心に活動を決めている。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの発達段階や季節・就学などの時期に応じて必要な活動を盛り込み、固定化しないようにしている。	

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○			お子さんの状況に応じて支援内容を個別・集団の2場面組み合わせさせて作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に、活動担当者を中心に活動内容と役割分担を共有する時間を設けている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			午前の部終了後に活動等の振り返りを行い改善点など次の支援に活かしている。午後の部は翌日に時間を設けている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			保護者の方への記録の他に、計画に応じた細かい記録をとっている。共有の必要な情報は話し合いを行い改善につなげている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1度、または必要に応じて支援計画の作成、見直しを実施しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者が中心に出席している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			関係機関との連携を行い情報共有に努めている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○			該当児童なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○			該当児童なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			サポートファイルを使用し、就園先に提出する等、情報共有に努めている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			サポートファイルを使用し、就学先に提出する等、情報共有に努めている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的に専門機関に療育現場を見て頂き、相談に対してアドバイスをもらっている。また、専門機関による研修に参加している。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			例年は系列保育園への交流機会を設けているが、感染症対策として今年度は自粛している。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○			時期を見て感染対策を取った上での参加を検討していく。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				連絡ノートや送迎時・面談時以外にも必要に応じて電話連絡を取り、情報共有を行っている。

	①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			保護者から悩みや困りごとの相談には迅速に対応している。経過についてもこまめに連絡をとり、フォローに努めている。	
保護者への説明責任等	②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明している。	
	③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			支援計画作成時期に面談を行い、お子さんの様子や今後の支援について説明を行った上で、了承を得ている。	
	④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談時以外にも、必要に応じて電話での相談を受けている。また、連絡ノートでの相談にも応じている。	
	⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			茶話会を開催したが、感染症の流行により中止となった。時期をみて再度開催を検討していく。
	⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			連絡ノートや送迎時に相談等の申し入れがあった場合はすぐに管理者に報告し、要望へ対応している。	
	⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログやおたより（ドリーム通信）を通して発信している。	
	⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			契約時に説明を行い、取り扱いには十分注意している。	
	⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さんや保護者の気持ちに寄り添い、相談しやすい環境を作る等の配慮をしている。	
	⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		感染症の流行により実施を見合わせている。今後は感染状況を見ながら再開を検討していく。
	非常時等の対応	⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルを策定し、訓練実施内容をグループ通信を通して周知している。
⑫		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に様々な災害を想定した訓練を行っている。また非常食などの補充・点検も行っている。	
⑬		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に保護者からの聞き取りを通して、お子さんの状況を確認している。必要に応じて非常用の薬を置き、緊急時の対応についての確認を行っている。	
⑭		食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			契約時に保護者からの聞き取りを通して、お子さんの状況を確認している。	
⑮		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例があった際には報告書を作成し、再発防止の為に会議で共有している。	
⑯		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会が中心となり、定期的に研修を実施している。	
⑰		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			お子さんのケガや事故防止の為に行動を制止させて頂く場合について、支援計画の中に記載し、保護者の了承を得ている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。